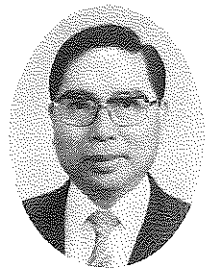




体協 おおまち



体協おおまち 発刊に寄せて

会長
高橋 恭 男

若葉の緑が美しい季節となり、躍動するスポーツシーズンが到来しました。

大町市体育協会も各種スポーツの普及にとまじり、加盟団体も倍増してまいりました。

そこで、会員相互の親睦と加盟団体の情報交換を図るため、広報紙「体協おおまち」を発行することにいたしました。

限られた紙面ではありますが、会員のコミニケーションを深め、より良い仲間づくりに役立てたいと願っております。

ところでスポーツは、体位の向上と精神の昂揚に資する

という大きな目的のあることは、改めて申すまでもありません。

近年、様々なスポーツが普及し、国民総スポーツマンという傾向です。これは、平均寿命の延びと共に、自らの健康づくり、予防医学の面からもスポーツへの関心の高まりということでもありましょう。

当市においても、球技をはじめ陸上、水上競技等々その種目は多岐に亘り、老若男女を問わず何んらかのスポーツにかかわっているといっても過言ではありません。

こうした背景から、施設整備の要望は強く、市といたしましても運動公園の整備充実のほか、地域のスポーツ施設の整備を進めてまいりました。

運動公園もテニスコート、野球場、多目的広場、相撲場、弓道場の建設、そして今年度から着工の市民体育館の建設へと整備を進め、市民スポーツ振興の拠点として充実しております。

こうした施設は、幅広い市

民の皆さんに利用されてこそその価値が高くなります。限られた施設ではありませんが、お互いが工夫し合い、知恵を出し合って効率的な利用をしてほしいものです。

また、スポーツにルールがあるように体育施設管理にも一つのルールがあることを理解いただきたいと思います。

施設の利用後の状況は、必ずしも良好ではないと言うことを耳にします。スポーツを愛好する者は、その施設も自らの物として愛用する心を持たなければなりません。

例へば芝生の雑草を一本でも抜き取るようなマナーを一人ひとりが持つてほしいと思います。

ともあれ「健全な肉体に健全な精神が宿る」と言われます。市民の皆様の健康増進のためにさらに努力してまいりますので、皆様のご支援をお願いいたします。



大町市体育協会の指標

- 一、スポーツ人口底辺の拡大をはかる。
- 二、スポーツ技術と能力を地域スポーツ活動のために奉任させる。
- 三、普及の遅れているスポーツや新しいスポーツの普及、振興をはかる。
- 四、技術の向上、体力つくりの指導助言にあたる。
- 五、スポーツをするための機会と場の提供。
- 六、「市民、皆 スポーツの日」の推進。



経過報告

理事長
山本 携 拳

体協の指標のなかに「市民皆スポーツの日」の推進がある。町村合併によって誕生した市体協も発足以来三十余年を経た。種目別団体も当時の10種程度から現在の19種目と倍増し、内容的にも多様化がみられ、特筆すべきは女性の進出と高令者の参加がいちじろしい。国威高揚が主目的だった格闘技中心の競技も、国民の健康増進の名のもとに種目を変え、レクリエーションによって拡大し受け継がれ、地域特性であるスキー、スケートが中心となったスポーツとして一挙に花ひらいていった。この間スポーツの低辺拡大も急がれ、種目別に開催されていた各種日競技会や大会も市民スポーツ祭として確立され、県・国レベルの大会への選手派遣も続いた。第33回やまびこ国体のサッカー競技が当地で開催されるに及んで、施設

専門委員会

(二年間の反省と新年度に向けて)

総務財政委員会

委員長

丸山 源 一郎

昭和六十一年度は大町市体育協会の会則、規程の見直しにより本会の事業遂行のため三つの専門委員会が設けられました。当委員会に課せられた任務は、次のとおりであります。

◆体育協会財政問題に関すること

面でも運動公園の実現を見るに至った。本年は既設のサッカー、陸上の競技場に加え、野球場のオープン、次いでテニス、弓道、相撲、多目的広場の完成と、施設の充実は急がれ、遂に願望久しかった体育館建設もその緒に着き、名実ともに総合的な運動公園は大成を見ようとしている。こ

◆事業計画、収支予算に関すること

◆スポーツ功労者表彰に関すること

◆諸規定の制定及び改廃に関すること

特に市体協の財源強化対策として新たに賛助会員制度による賛助会費が収入として予算化されました。

◆当委員会では、数回にわたる、委員会を開催して賛助会員制度問題につき検討を重ね、延べ4日間にわたり推進を行いました。52団体(個人を含む)

の機に当り、協会が将来的展望のもと実施した体質の改善、すなわち会則、規定の見直しと作成、専門委員会の設置、賛助会員制度による組織面の強化がようやくその効を現わしはじめている現在、各組織団体は協会の自立と市民皆スポーツの推進に向け一層の努力を傾注しようではないか。

む)の深いご理解とご協力での初期の目的を達成することができました。厚く感謝を申し上げる次第であります。

今年を初年度として五百万円を目標額として基金として積立てをして、向う五年間実施することになりました。

◆今後は賛助会員組織の拡大をはかり、賛助会員となった企業へのスポーツ活動に対し積極的な協力態勢をつくると共に、基金に対して行政の深い理解をお願いする次第であります。

指導・普及委員会

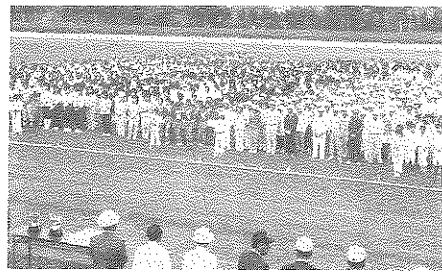
委員長

待 井 香 苗

市体協の事業遂行のための一貫として、各部専門委員会が出来た。

指導普及委員会では次の方針に従い、実践して行きます。一、指導者、審判員等育成強化に関すること。

体協各加盟団体の中で、現在指導的立場に立って活動している人、又、指導者として



主催事業の市民スポーツ祭 夏期大会の開会式

の公認資格を持って指導している人、(主な選手歴、主な指導歴)等を「指導者登録票」によって調査しました。

これらに基づいて、指導体系の確立、競技人口の拡大と総力を挙げ取り組んでまいりたいと思っております。

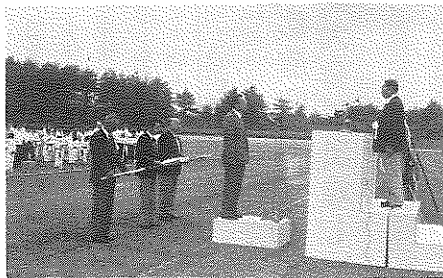
二、市民の体力向上に関すること。

スポーツ熱が高まる中で、運動中にねん挫・打ち身・骨折などのけがをする人、日射病などの内科の疾病等スポーツによるけがや病気が増えているため、基礎的な運動医学を身につけたスポーツドクターを養成、医学的にとらえて指

昭和61年度大町市体育協会表彰

功平	林久	大町	山岳会	大町	八日町
栗林	隆治	大町	柔道クラブ	大町	十日町
宮沢	大町	陸上競技協会	大町	六九町	
藤岡	大町	陸上競技協会	常盤	西山	

以上の4氏を、7月20日市民スポーツ祭の開会式終了後に表彰。



昭和61年度表彰風景

導出来る体制を作りたい。
三、スポーツ少年団育成・指導に関する事。

市体協会則の規程に基づいて設置された、大町市スポーツ少年団規程にある事業遂行のために努力していきます。
四、市民のスポーツの普及に關すること。

体協加盟団体の増加を考えに行きます。又自然を活用出来るスポーツを取入れていきたい。今年二月に大町市綱引きトーナメント大会を行ったところ、二十二チームの参加で盛会であった。綱引き・なわとび等の普及も積極的に取

り組んでいきたい。
楽しく健康的なスポーツを行なう人々は自分の健康増進や人との協調とか忍耐力・集注力など精神的にも自己をたかめ、それ等を日常生活の中に取り入れて社会生活の明朗化に役立てるスポーツマンになつていただきたい。
今年発足したばかりの委員会です。まだまだ内容が不十分です。今後委員会で審議を繰返し、充実した内容にしたいと思ひます。お気づきになつた点、その他を事務局の方へお寄せ下さい。

競技委員会

委員長 福島 脩

昭和六十一年度より市体協の組織・規約等が大巾改正され、その事業遂行のために専門委員会が設けられて、その一組織である競技委員会が発足してもう一年にならんとしています。

この事業遂行のための調査及び審議事項はまことに大きな業務であり、一朝一夕にして達成出来るものではありませんが、委員一同、心を合せその目的に速やかに到達することを念じ頑張つております。

以下委員会の取り組む姿勢についてお知らせします。

- ▽競技力向上に關すること
 - ▽競技団体の育成、強化に關すること
 - ▽競技力、各種大会に關すること
- 現在、体協加盟団体は十九を数えますが、各団体には組

織の大小、活動の強弱等それぞれ特色があるようですが、それらを含めた競技成績等の情報は殆んど明らかになつておりません。委員会としてはこれらの現状を踏まえて各団体の情報の収集、把握を行なう重要なものは関係者に明らかにし、今後体協の総括的なもの、又は各団体別の今後の活動に充分対処します。(情報は取集中)なお一定以上の競技成績の報告を義務づけ、将来財政が許すならば補助金制度を設け競技力向上に役立てばと考えます。又、スポーツ大会等には積極的に關与してまいります。

以上の如く、委員会の目的としては未だに抽象的な内容ですが、これを今後如何に実行するかが大きな課題でしょう。それには私共のみならず関係者各位からのご指導、ご協力を得なければ達成出来ることではありません。
今後更に発展する体協の礎であることを肝に銘じ、よろしくお願ひ申し上げます。

事業報告より 一部紹介

大町市体育協会の外郭団体である「大町市スポーツ少年団」本部では、8月5日(9日まで)西ドイツのスポーツ少年団19名を受け入れました。これは、第13回日独スポーツ少年団同時交流事業の一環として、大町市で受け入れ事業を行ったものです。「ホームステイ」の形で滞在し、少年団員、ならびに家族と交流をし、素晴らしい思い出を残しました。国際化の進む今日、大町市にもその波は序々に押し寄せてきています。ス



大町市スポーツ少年団本部事業の西ドイツのスポーツ少年団を迎えて

